



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT2601S		
科目名	基礎ゼミ		
担当教員	秦 康範		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 3		
講義室	1315	単位区分	必
授業形態	演習・ゼミナール	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード：学修のゴールを示すディプロマポリシー（DP）との関連 DP1－E〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4－F〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP3－H〔論理的思考力・批判的思考力〕 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4－I〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP6－K〔表現力・対話力〕 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■CRコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（CR）との関連 E1 学識と専門技能（30%） F1 探究力・課題解決力（20%） H1 論理的思考力（10%） H2 批判的思考力（10%） I1 理解力・分析力（10%） K1 ライティング・コミュニケーション（10%） K2 オーラル・コミュニケーション（10%）		
教員の実務経験	国や地方公共団体の研究機関である人と防災未来センター（2002年～2005年）や防災科学技術研究所（2005年～2007年）の研究員として防災行政に係る研修や研究に従事した経験から、2003年以降、国、地方公共団体の防災行政に係る審議会・委員会等を歴任して来ました。これらの業務を通じて得られた実務上の知見や経験を活かし、本演習を展開していきます（第1回～第15回）。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージと対応 2 進行期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	危機管理に関する多様な研究分野の中から、学生個人がそれぞれ1つの研究テーマを構築するために必要な、危機管理学に関する基礎的な演習を行います。専門基幹科目における法学系科目や専門展開科目における災害マネジメント、パブリックセキュリティ、グローバルセキュリティ、情報セキュリティの各領域の危機管理系科目を担当する教員が、それぞれの研究分野における研究の手法について指導します。ここでの学びが、2年次後学期以降のゼミナール・危機管理特殊研究でのより専門的な研究活動への橋渡しの意味をもちます。本演習では、学術研究におけるテーマ決定や研究計画を中心に扱います。		

	授業は演習形式によります。なお、授業を補完・代替するためにオンライン授業（オンデマンド型またはライブ配信型）を取り入れる場合があります。 授業形態は（講義・実技・実習・演習 ※1つ選択してください）形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：危機管理、研究テーマの構築、ゼミナールへの橋渡し						
授業の趣旨	■副題 災害軽減と持続可能な社会の形成について学ぶ ■授業の目的 災害マネジメント領域に関する資料や文献を読解し、要点をレジメにまとめ、発表することにより、皆さんのアカデミック・スキルを強化します。 ■授業のポイント 現在進行形の課題や時事問題を取り上げるので、日頃から社会の様々な出来事に関心を持ち、常にアンテナを張って多角的な情報収集の習慣が望ましいです。						
総合到達目標	■旺盛な関心をもって危機管理学及びそれを支える諸科学における重要問題を探求し、これを科学的な手法によって分析することができる。 ・テーマ設定から研究成果の発表に至るまでの研究プロセスを説明することができる ・自らの問題意識を研究の問いとして説明することができる ■資料・文献等研究素材を論理的に解釈して知見を見出すとともに、その成果を適切に表現することができる。 ・危機管理に関する資料や文献を精読できる。 ・資料や文献に基づきレジメを作成することができる。 ・レジメやグループワークを通じて、危機管理に関する様々な課題について説明できる。 ・他者と危機管理に関する問題について議論をすることができる。						
成績評価方法	■授業参加度（15回）50% 適応ルーブリック：E1、F1、H1、H1、I1、K1、K2 （評価の観点）個人研究やグループ研究に積極的に参加し研究上の役割・分担を適切にこなすとともに、研究活動を通じて専門知識を高め、探究力や論理性を発揮しているかどうかをみます。 （フィードバックの方法）演習中、必要に応じてコメントします。 ■レジメ・パワーポイント作成（2回）50% 適応ルーブリック：E1、F1、H1、H1、I1、K1、K2 （評価の観点）レジメやプレゼンテーションのフォーマットを理解し、それらを通じて研究成果を表現できているかどうかをみます。 （フィードバックの方法）レジメの作成・提出、プレゼンテーションの準備・発表の過程で随時コメントします。						
履修条件	特にありません。						
履修上の注意点	特にありません。						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ オリエンテーション ②授業概要 基礎演習で行う内容と成績評価についての説明を聞くことで、基礎演習で涵養するスキルが何か学生は説明できるようになる。自己紹介と発表順番を決めます。 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 本演習についてシラバスを通読しておく。 ④復習(120分) シラバスをもとに、本演習についての自分の学習計画を立てる。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 文献・資料の輪読、報告、討議 ②授業概要 文献・資料の内容を基にセミナー形式で進めます。報告者はレジメを作成して人数分をコピーし、授業開始時にそれを配布する。それ以外の学生は授業日までに文献・資料を読み、報告に対して質問や議論をする。シラバスをもとに、本演習についての自分の学習計画を立てる。(E1、F1、H1、H2、I1、K1、L1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 事前に提示した文献・資料を読んでくる。 ④復習(120分) </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ オリエンテーション ②授業概要 基礎演習で行う内容と成績評価についての説明を聞くことで、基礎演習で涵養するスキルが何か学生は説明できるようになる。自己紹介と発表順番を決めます。 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 本演習についてシラバスを通読しておく。 ④復習(120分) シラバスをもとに、本演習についての自分の学習計画を立てる。	2	①授業テーマ 文献・資料の輪読、報告、討議 ②授業概要 文献・資料の内容を基にセミナー形式で進めます。報告者はレジメを作成して人数分をコピーし、授業開始時にそれを配布する。それ以外の学生は授業日までに文献・資料を読み、報告に対して質問や議論をする。シラバスをもとに、本演習についての自分の学習計画を立てる。(E1、F1、H1、H2、I1、K1、L1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 事前に提示した文献・資料を読んでくる。 ④復習(120分)
回	内容						
1	①授業テーマ オリエンテーション ②授業概要 基礎演習で行う内容と成績評価についての説明を聞くことで、基礎演習で涵養するスキルが何か学生は説明できるようになる。自己紹介と発表順番を決めます。 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 本演習についてシラバスを通読しておく。 ④復習(120分) シラバスをもとに、本演習についての自分の学習計画を立てる。						
2	①授業テーマ 文献・資料の輪読、報告、討議 ②授業概要 文献・資料の内容を基にセミナー形式で進めます。報告者はレジメを作成して人数分をコピーし、授業開始時にそれを配布する。それ以外の学生は授業日までに文献・資料を読み、報告に対して質問や議論をする。シラバスをもとに、本演習についての自分の学習計画を立てる。(E1、F1、H1、H2、I1、K1、L1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 事前に提示した文献・資料を読んでくる。 ④復習(120分)						

	発表者以外の討論者は、発言できなかった内容や相手とのやり取りについて振り返ります。報告者は自分の報告について振り返り、質問された内容で答えられなかった点については調べておく。
3	①授業テーマ 文献・資料の輪読、報告、討議 ②授業概要 文献・資料の内容を基にセミナー形式で進めます。報告者はレジメを作成して人数分をコピーし、授業開始時にそれを配布する。それ以外の学生は授業日までに文献・資料を読み、報告に対して質問や議論をする。シラバスをもとに、本演習についての自分の学習計画を立てる。(E1、F1、H1、H2、I1、K1、L1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 事前に提示した文献・資料を読んでくる。 ④復習(120分) 発表者以外の討論者は、発言できなかった内容や相手とのやり取りについて振り返ります。報告者は自分の報告について振り返り、質問された内容で答えられなかった点については調べておく。
4	①授業テーマ 文献・資料の輪読、報告、討議 ②授業概要 文献・資料の内容を基にセミナー形式で進めます。報告者はレジメを作成して人数分をコピーし、授業開始時にそれを配布する。それ以外の学生は授業日までに文献・資料を読み、報告に対して質問や議論をする。シラバスをもとに、本演習についての自分の学習計画を立てる。(E1、F1、H1、H2、I1、K1、L1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 事前に提示した文献・資料を読んでくる。 ④復習(120分) 発表者以外の討論者は、発言できなかった内容や相手とのやり取りについて振り返ります。報告者は自分の報告について振り返り、質問された内容で答えられなかった点については調べておく。
5	①授業テーマ 文献・資料の輪読、報告、討議 ②授業概要 文献・資料の内容を基にセミナー形式で進めます。報告者はレジメを作成して人数分をコピーし、授業開始時にそれを配布する。それ以外の学生は授業日までに文献・資料を読み、報告に対して質問や議論をする。シラバスをもとに、本演習についての自分の学習計画を立てる。(E1、F1、H1、H2、I1、K1、L1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 事前に提示した文献・資料を読んでくる。 ④復習(120分) 発表者以外の討論者は、発言できなかった内容や相手とのやり取りについて振り返ります。報告者は自分の報告について振り返り、質問された内容で答えられなかった点については調べておく。
6	①授業テーマ 文献・資料の輪読、報告、討議 ②授業概要 文献・資料の内容を基にセミナー形式で進めます。報告者はレジメを作成して人数分をコピーし、授業開始時にそれを配布する。それ以外の学生は授業日までに文献・資料を読み、報告に対して質問や議論をする。シラバスをもとに、本演習についての自分の学習計画を立てる。(E1、F1、H1、H2、I1、K1、L1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 事前に提示した文献・資料を読んでくる。 ④復習(120分) 発表者以外の討論者は、発言できなかった内容や相手とのやり取りについて振り返ります。報告者は自分の報告について振り返り、質問された内容で答えられなかった点に

		ついては調べておく。
7	①授業テーマ 文献・資料の輪読、報告、討議 ②授業概要 文献・資料の内容を基にセミナー形式で進めます。報告者はレジメを作成して人数分をコピーし、授業開始時にそれを配布する。それ以外の学生は授業日までに文献・資料を読み、報告に対して質問や議論をする。シラバスをもとに、本演習についての自分の学習計画を立てる。(E1、F1、H1、H2、I1、K1、L1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 事前に提示した文献・資料を読んでくる。 ④復習(120分) 発表者以外の討論者は、発言できなかった内容や相手とのやり取りについて振り返ります。報告者は自分の報告について振り返り、質問された内容で答えられなかった点については調べておく。	
8	①授業テーマ 文献・資料の輪読、報告、討議 ②授業概要 文献・資料の内容を基にセミナー形式で進めます。報告者はレジメを作成して人数分をコピーし、授業開始時にそれを配布する。それ以外の学生は授業日までに文献・資料を読み、報告に対して質問や議論をする。シラバスをもとに、本演習についての自分の学習計画を立てる。(E1、F1、H1、H2、I1、K1、L1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 事前に提示した文献・資料を読んでくる。 ④復習(120分) 発表者以外の討論者は、発言できなかった内容や相手とのやり取りについて振り返ります。報告者は自分の報告について振り返り、質問された内容で答えられなかった点については調べておく。	
9	①授業テーマ 文献・資料の輪読、報告、討議 ②授業概要 文献・資料の内容を基にセミナー形式で進めます。報告者はレジメを作成して人数分をコピーし、授業開始時にそれを配布する。それ以外の学生は授業日までに文献・資料を読み、報告に対して質問や議論をする。シラバスをもとに、本演習についての自分の学習計画を立てる。(E1、F1、H1、H2、I1、K1、L1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 事前に提示した文献・資料を読んでくる。 ④復習(120分) 発表者以外の討論者は、発言できなかった内容や相手とのやり取りについて振り返ります。報告者は自分の報告について振り返り、質問された内容で答えられなかった点については調べておく。	
10	①授業テーマ グループワーク1 ②授業概要 今まで読んできた本や論文の問題点について、KJ法や2次元展開法を用いてグループで議論し考えをまとめ、報告を行うことで、問題解決能力や分析・考察力を養うことができる。(E1、F1、H1、H2、I1、K1、L1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) グループワーク用に指定された文献・資料を読んでくる。 ④復習(120分) グループワークで指摘された内容を振り返りシートに記載する。	
11	①授業テーマ 文献・資料の輪読、報告、討議 ②授業概要 文献・資料の内容を基にセミナー形式で進めます。報告者はレジメを作成して人数分	

	をコピーし、授業開始時にそれを配布する。それ以外の学生は授業日までに文献・資料を読み、報告に対して質問や議論をする。シラバスをもとに、本演習についての自分の学習計画を立てる。(E1、F1、H1、H2、I1、K1、L1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 事前に提示した文献・資料を読んでくる。 ④復習(120分) 発表者以外の討論者は、発言できなかった内容や相手とのやり取りについて振り返ります。報告者は自分の報告について振り返り、質問された内容で答えられなかった点については調べておく。
12	①授業テーマ 文献・資料の輪読、報告、討議 ②授業概要 文献・資料の内容を基にセミナー形式で進めます。報告者はレジメを作成して人数分をコピーし、授業開始時にそれを配布する。それ以外の学生は授業日までに文献・資料を読み、報告に対して質問や議論をする。シラバスをもとに、本演習についての自分の学習計画を立てる。(E1、F1、H1、H2、I1、K1、L1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 事前に提示した文献・資料を読んでくる。 ④復習(120分) 発表者以外の討論者は、発言できなかった内容や相手とのやり取りについて振り返ります。報告者は自分の報告について振り返り、質問された内容で答えられなかった点については調べておく。
13	①授業テーマ 文献・資料の輪読、報告、討議 ②授業概要 文献・資料の内容を基にセミナー形式で進めます。報告者はレジメを作成して人数分をコピーし、授業開始時にそれを配布する。それ以外の学生は授業日までに文献・資料を読み、報告に対して質問や議論をする。シラバスをもとに、本演習についての自分の学習計画を立てる。(E1、F1、H1、H2、I1、K1、L1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 事前に提示した文献・資料を読んでくる。 ④復習(120分) 発表者以外の討論者は、発言できなかった内容や相手とのやり取りについて振り返ります。報告者は自分の報告について振り返り、質問された内容で答えられなかった点については調べておく。
14	①授業テーマ グループワーク2 ②授業概要 今まで読んできた本や論文の問題点について、KJ法や2次元展開法を用いてグループで議論し考えをまとめ、報告を行うことで、問題解決能力や分析・考察力を養うことができる。(E1、F1、H1、H2、I1、K1、L1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) グループワーク用に指定された文献・資料を読んでくる。 ④復習(120分) グループワークで指摘された内容を振り返りシートに記載する。
15	①授業テーマ まとめと振り返り ②授業概要 15週の授業を振り返り、資料や文献の論点を整理し、説明できるようになる。(E1、F1、H1、H2、I1、K1、L1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 自分の発表と討論について、改善点などを考えてまとめる。 ④復習(120分) 本演習で強化したアカデミック・スキルについて、達成状況を自己評価し、自分の課

	題をまとめる。
関連科目	①演習系科目としては、「自主創造の基礎 1・2 (RMGT1215、1216)」・「危機管理基礎演習Ⅱ (RMGT2602)」・「ゼミナールⅠ～Ⅳ (RMGT4601～4604)」・「危機管理特殊研究 1～4 (RMGT4611～4614)」と関連します。特に「ゼミナールⅠ～Ⅳ」への橋渡しの意味をもちます。
教科書	1回目の授業で指示をします。資料や文献は配布する予定です。
参考書・参考URL	1回目の授業で説明します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先：開講時に告知します。 ■オフィスアワー：掲示板にてお知らせします。メールにて事前にアポイントメントをとってください。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント70%；パブリックセキュリティ10%；グローバルセキュリティ10%；情報セキュリティ10% ■危機管理学と法学のバランス 危機管理学90%、法学10%

